

I ♥ KP

京都議定書大好き

“ I ♥ KP ”って、どういうこと？  
どうして、今さら？



京都議定書大好き

# 京都議定書 “KP” って？

温室効果ガスを減らすことを決めた、  
世界で最初の約束が**京都議定書**。  
英語で “**Kyoto Protocol (KP)**”

1997年に京都で、  
地球温暖化を防ぐために合意された。

世界の人たちが、気候を守ろうと  
がんばるきっかけになったのが“**KP**”。



京都議定書大好き

## “KP”の約束。

最初の約束は、  
2008～2012年に、先進国が  
温室効果ガスを5%減らすことだった。

エネルギーをたくさん使って  
CO<sub>2</sub>をたくさん出してきた豊かな先進国が  
がんばるのはあたりまえのこと。

アメリカが“KP”から抜けてしまったけど、  
日本は残って、「マイナス6%」を約束した。



京都議定書大好き

## 2013年からは？

最初の約束は、2012年末で終わった。  
けれど、2013年からも  
京都議定書が続くことになった。  
2020年から新しいルールが始まるまで、続く。

“**KP**”は、削減を義務化する唯一のルール。  
失えば、「何もなかった時代」に歴史が逆戻りする。  
だから、多くの国が、“**KP**”を続けることを支持した。



京都議定書大好き

## でも、日本は…

ところが、日本は  
「**“KP”**の義務はもうイヤ」だと、背を向けた。  
なぜなら、「アメリカや中国が入らないから」と。

アメリカも中国も、もちろん、がんばらないといけない。  
でも「あなたがやらないなら、私もやらない」って、  
それでいいのだろうか？

今のところ世界の約束は**“KP”**しかないのに、  
それを作った国が逃げてしまって、いいのだろうか。



京都議定書大好き

# 2℃。

世界は今、地球の気温上昇を  
2℃以下に抑えるために話し合いを続けている。

このままだと、気温は4℃も上がるかもしれない。  
とり返しのつかない環境異変が起きてしまう。

世界の国々のCO<sub>2</sub>を減らす目標は、まだ足りない。  
もっとがんばらなくてはならないんだ。

温暖化の対策は、「待ったなし」どころか、  
「手遅れ」の一手手前だ。



京都議定書大好き

# 約束が、大切。

2020年まで、  
「自主的にやります」と言うか、それとも、  
「削減を約束します」と言うか。

“**KP**”よりも前にできた条約は、  
「自主的に努力する」ことを決めたけれど、  
実際に排出を減らすことができなかった。

大切なのは、「約束」だ。



京都議定書大好き

## 約束する国、しない国…

EU、オーストラリア、ノルウェーなどは、  
2013年からも“**KP**”の約束をする。

日本・ロシア・ニュージーランドは、  
2013年からは“**KP**”の約束をしない。

アメリカ・カナダは、京都議定書にすら参加しない。

途上国にこれからの行動を求めたいとき、  
どのグループが一番、説得力があるだろう。



京都議定書大好き

# つなぐ。

日本でも、多くの人たちが「マイナス6%」のためにがんばってきた。新しい取組みやビジネスも広がった。

今ある“**KP**”をもとにして、  
今までのがんばりを、未来につなぐ。

これからも「約束」し、  
2020年からの世界全体の「約束」につなぐ。

つなぐことは、“**KP**”の大切な役割。



京都議定書大好き

## もう一度。

日本にとって、“**KP**”は過去ではない。

今からでも遅くはない。

“**KP**”の下で、CO<sub>2</sub>を減らすことを約束しよう。

そして、世界の流れにのって、25%をめざしていこう。

貧しい国の人たちや未来の子どもたちに降りかかる  
気候危機。日本も責任がある国だ。

“**KP**”で約束して、気候を守ろう。

I ♥ KP

京都議定書大好き

“ I ♥ KP ” って、つまりは、

I ♥  
KP

京都議定書大好き

**世界のルールで気候を守ること。  
今だからこそ、必要なこと。**



地球温暖化を防ぐために  
提案×行動するNPO/NGO